

公表 における自己評価結果

事業所名		まどか					公表日	2025 年 3 月 17 日	
		チェック項目	はい	いいえ	職員の意見	工夫している点や課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		広々としています。	基準以上のスペースを設けて活動をしています。また光過敏の方の負担にならぬように配色や照明の配置を配慮しています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	3	曜日と状況により、遊び場の人数が足りないときがある。	基準を満たした人員配置を行っております。今後は職員に対して人員基準に関する知識力の向上研修を行ってまいります。なお10名定員の現場人員配置は基準は2名ですが、まどかは少ない日でも5名配置しています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		掲示物が増え、わかりやすくなったと思います。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		新しい室内で綺麗です。	施設内が清潔であるように職員の方々が清掃を心がけております。また施設の備品や壁紙の修繕を半年に一度行い、利用者様が心地よく活動ができるように心がけております。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8						
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	私にはわかりかねます。	評価表公開後は職員にも閲覧していただき、検討すべき事項はミーティングで行っております。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	私にはわかりかねます。	当法人は第三者評価は執り行っておりません。今後は運営規定に関する研修を職員に実施を行い知識向上を目指します。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			知識や技術向上のための職員が自ら希望したセミナー代を法人で負担しております。そのほか行政のセミナーや内部研修に勤めています			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			HuGシステムの運用以外で、HP上でも掲示しております。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			役職者関係なく、意見の出し合うことのできる職場となっております。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			毎日の活動時のほか、ワークスビジネスを持ちながら情報共有を行っております。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			プログラムは個人のみで決定することではなく、提案者は役職にその支援内容を必ず確認し検討を行っております。決まった支援内容は職員間で共有しております。			

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	私にはわかりかねます。	個別支援計画に関しては法改正の時点で研修を行っております。すべての従事者が共通した認識を持てるように、新人研修を含め知識と技術の向上に努めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	私にはわかりかねます。	児童発達支援管理責任者主導のもと同資格保持者に加え行政書士資格保持者の意見も伺いながら4名体制で計画作成を行っております。また計画に携わらない職員に対してはすべての従事者が共通した認識を持てるように、含め知識と技術の向上に努めます。作成した個別支援計画に沿って療育担当者がプログラムを作成し、実行しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	1	私にはわかりかねます。	すべての従事者が共通した認識を持てるように、含め知識と技術の向上に努めます。対象職員はガイドラインの研修を実施してまいります。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8				
関係機関や	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	・小学生が主の障害福祉サービス事業所への移行した前例がない ・障害福祉サービス事業所等へ移行したケースがまだない	法人設立が5年のため、障害福祉サービス事業所等へ移行する場合の経験がまだございません。移行のある際は情報の共有を行わせていただきたく存じます。

保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		7		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8	・感染症対策の為行っていない ・感染症の影響を考慮し、実施していません	コロナの感染症対策期間も長く続いていましたので、行っておりませんでした。保護者様にお伺いしたこともございますが、希望もありませんでした。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	私にはわかりかねます。	可能な限りの参加をしております。昨年度は管理者法事出席のため参加していません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・研修会はないが日々の提供記録で必要に応じた情報提供を行っている ・私にはわかりかねます。	日々の報告や支援のアドバイスほか、行政からの案内があった際はHUGシステムで掲示を行っております。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7	・保護者会無 ・父母会や保護者会などは、感染症の影響を考慮し実施していません。	・個人情報に気にする方や、施設利用を知られたくないご家庭も多くいらっしゃるため保護者会実現に向けての調整は難しくあります。また保護者会の希望もありませんでした。またボランティアの方によるマジックショーなどは家族で参加できるよう呼びかけを行っております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	・感染症対策の為行っていない ・感染症の影響や、防犯の観点から積極的に地域へ開かれた運営は行っていません。 ・感染症対策の為	・防犯の観点や感染症対策のため執り行っておりません。しかしながら三鷹市の福祉事業所として皆様の支えに対しお応えできるよう、三鷹市の福祉避難所として登録されております。また商工会の会員となっております。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8				

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1		個別ファイルで児童情報を確認していない職員は、管理者が指導いたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	まどか（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58	(回答者数) 41
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的資格者による専門的アセスメントに基づいた支援	利用者に困りごとに適した支援の実施各有資格者がその分野に特化した専門的アセスメントを用いて、プログラムを作成する。	職員が自らの能力向上を行うため必要なセミナーの参加や資格取得に向けた法人主体の補助の実施。
2	十分な広さのある支援室と人員配置	1日の利用者を個別支援計画に基づきグループ分けを行い、各グループが療育に集中できる環境整備の実施 職員配置に余裕を持たせることで、職員一人当たりの負担の軽減。	インカムを用いて、情報の伝達の速さや共有の徹底化
3	地域連携に対する柔軟性と積極性	利用者の困りごとに対し1事業所ではなく、地域の包括的な支援とインクルージョンの推進を目指し、職員が共通した認識のもと積極的なかわりを行っている。また広く社会に貢献するため福祉避難所として登録し、利用者や地域の安全を第一に運営を行っている	地域との連携を図るにおいてサービス提供地域における社会資源の理解や、関係機関の準ずる法令理解や教育用鋼の理解に努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	イベント活動の少なさ	5領域を満たす十分な支援を優先し、課外活動やイベントを少なくする傾向がある。	既存の職員の業務負担の要因を避けるため、運営側の人材を増やし運営主体でイベントの企画を行う。
2	ガイドラインに準ずる運営を行っているが、ニーズに即してない場合もある	事業運営をするにあたり法やガイドラインに準じた適切な運営のが常だが、家庭支援・保護者支援の要望に柔軟に適した対応がとれているかという点においては、難しい場面もある。事前に十分に丁寧な説明を行うことで理解をいただける家庭も多いが、理解をいただけない場合もある。	見学や契約時にを含め広く保護者の理解を得られるように説明用媒体の追加や丁寧な説明の実施。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		まどか		公表日 2025年3月17日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 整 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	当法人は第三者評価を行っておりません。	職員の運営方針の理解不足から「はい」という回答が見られています。研修を行い知識向上を目指します。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4			
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4				

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	・記録にて質問があった際に学校の様子などの情報提供をしている ・家族等が参加できる研修は行っていないが 必要に応じた情報提供を行なっている	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	保護者の希望があるご家庭に関して執り行う予定はありますが、希望者は今のところございません。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
訪問先	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4		・毎月に行っている ・実施後だけでなく月に一度の報告書にて共有を行なっている	

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	まどか(保育所等訪問支援)			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 7日		～	2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26人	(回答者数)	17人
○従業者評価実施期間	2025年 1月 7日		～	2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		～	年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	15校	(回答数)	14校
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月7日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富な職員主導のもと、専門的資格保有者が多く在籍するため多職種連携が行いやすい	多事業登録で訪問支援員が施設内の職員と情報を共有し相談しやすい体制を整えている。ラインワークスを使用しながら、仕事をしているため事業所内の情報を確認しやすい。	常勤訪問支援員の増員 相談支援事業部門の立ち上げ(予定)
2	サービス提供地域の自治体や、学校側が支援に関して受け入れ体制が協力的である	事業開始前に事前に三鷹市や教育委員会と検討する場を設けたので事業に対する協力体制が取りやすく、支援員が活動しやすい。	広く保育所訪問支援を認知してもらえるように、保育園等の未就学児の施設にも情報発信を行っていく
3	関係機関連携の重視している	同事業を行っている、三鷹市内の他事業所と連携を行いながら包括的な支援を行っている。	事業所間連携の強化して、オンライン会議等も活用しながら連携の容易さを図り提供する支援を充実していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	希望者が多く、訪問支援員が足りない。	保育所等訪問支援施設の少なさ 放課後等デイサービスとの兼務職員も多いため、訪問数に限度がある	自治体レベルの保育所等訪問支援事業所の開設誘致 人員増加
2	訪問学校数が多いため、支援員の移動に時間がかかる	徒歩移動やバス移動による距離	サービス提供地域の縮小
3	セルフプランが多く、更新手続きが関係機関の会議が必要	相談支援事業所がすでに案件が多く利用できない	自社で相談支援事業所の立ち上げ